

2023年3月期
第3四半期

決算補足説明資料

2023年2月14日

連結業績推移 – 第3四半期

23.3期 3Q累計業績

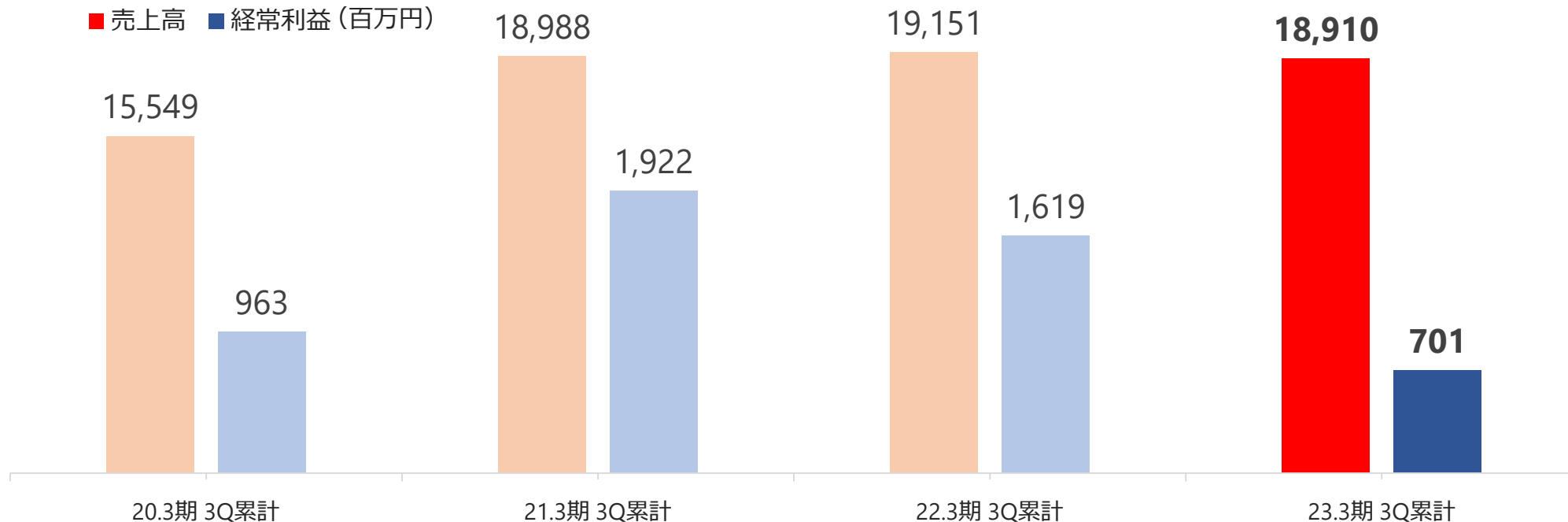
新型コロナウイルス感染症による特需効果の反動、資源価格高騰等により減収減益

<売上高> 前年同期比 Δ 241 百万円、増減率 Δ 1.3 %

- ・コロナウイルス感染拡大前に比べ堅調に推移しているものの、緊急事態宣言の解除に伴う特需効果がなくなったことにより減収となる。

<経常利益> 前年同期比 Δ 917 百万円、増減率 Δ 56.7 %

- ・資源価格の上昇や円安による仕入原価の高騰、および積極的な出店戦略によって販売管理費が増加したことにより減益となる。



連結業績推移 – 第3四半期

23.3期
3Q業績

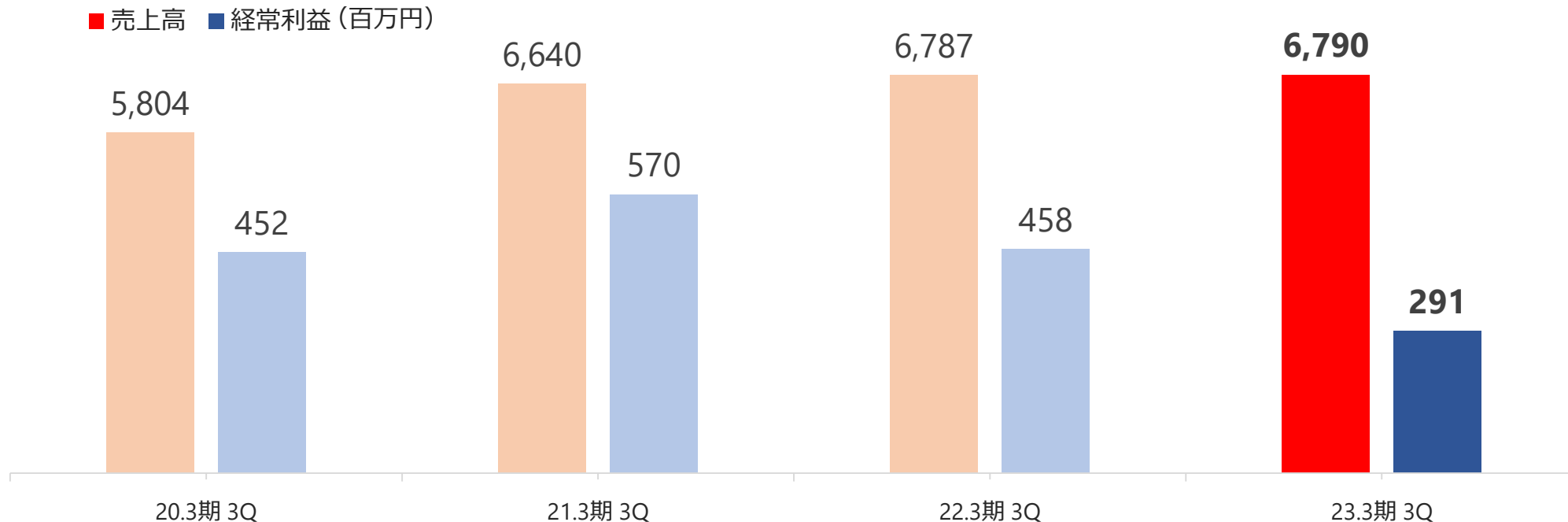
価格改定を行ったことにより微増、出店戦略により販管費の増加による減益

<売上高> 前期比+3百万円、増減率+0.1%

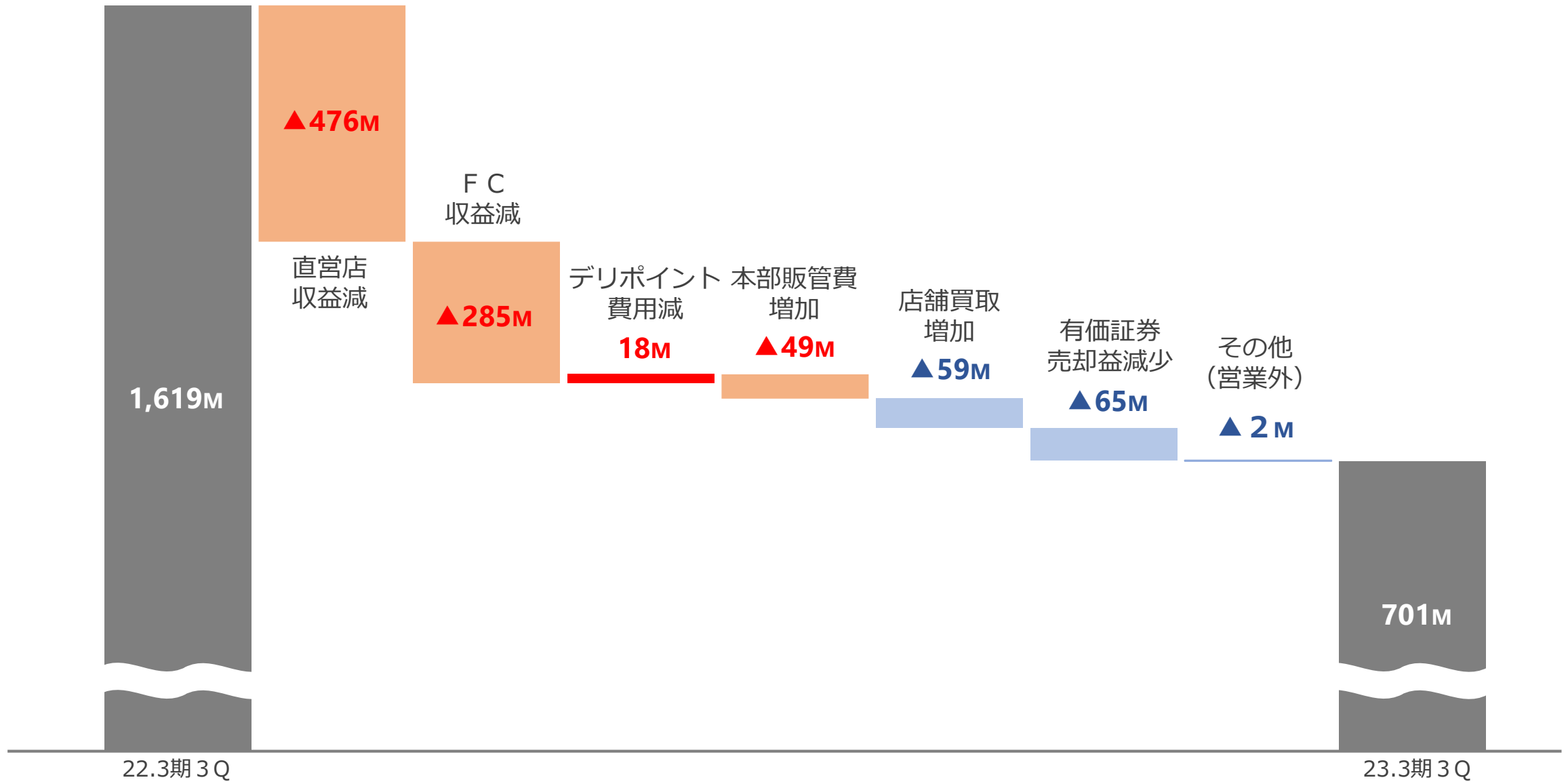
- ・第2四半期に引き続き、フードデリバリー需要はコロナ前に比べ堅調に推移。価格改定を行ったことにより微増となる。

<経常利益> 前期比△166百万円、増減率△36.3%

- ・価格改定を行ったことにより、第2四半期に比べ、原価の高騰を抑制したものの出店戦略に伴う、販売管理費の増加により減益となる。



経常利益の前期比増減の構成- 第3四半期



店舗数・拠点数の増減

事業形態	ブランド	22.3期末 店舗数	出店	閉店	23.3期 3Q店舗数
宅配事業	銀のさら	373	10	△2	381
	釜寅	220	7	△3	224
	すし上等!	147	5	△4	148
	DEKITATE	1	—	—	1
宅配代行業業	ファインダイン	17	—	—	17
その他	和食レストラン	2	—	—	2
合計		760	22	△9	773

	22.3期末 拠点数	拠点開設	拠点閉鎖	区分変更	23.3期 3Q拠点数
直営店	107	4	—	4	115
FC店	271	6	△2	△4	271
合計	378	10	△2	0	386

連結B/S 対前期末

(単位：百万円)	22.3期末	23.3期 3Q	前期比	ポイント
流動資産	7,313	9,807	+2,494	資産 +2,472百万円 ----- 【流動資産】 + 2,494百万円 ・ 現金及び預金 + 1,129百万円 ・ 売掛金 + 955百万円 ・ 原材料及び貯蔵品 + 520百万円 ・ その他 + 201百万円 ・ 有価証券 △ 400百万円 【固定資産】 △ 22百万円 ・ 有形固定資産 + 28百万円 ・ 無形固定資産 △ 64百万円 ・ 投資その他資産 + 13百万円
(うち現預金)	4,003	5,132	+1,129	
有形固定資産	1,140	1,169	+28	
無形固定資産	473	408	△64	
投資その他資産	2,516	2,530	+13	
資産合計	11,444	13,916	+2,472	
流動負債	3,554	4,299	+745	負債 +2,802百万円 ----- 【流動負債】 + 745百万円 ・ 買掛金 + 1,189百万円 ・ 未払法人税等 △ 240百万円 ・ 未払金 △ 207百万円 【固定負債】 + 2,057百万円 ・ 長期借入金 + 2,043百万円
(うち1年内有利子負債)	389	419	+30	
固定負債	533	2,590	+2,057	
(うち1年超有利子負債)	2	2,045	+2,043	
負債合計	4,087	6,890	+2,802	
株主資本	7,249	6,918	△331	純資産 △330百万円 ----- 【株主資本】 △ 331百万円 ・ 四半期純利益 + 448百万円 ・ 配当金 △ 303百万円 ・ 自己株式取得 △ 500百万円
純資産合計	7,356	7,025	△330	
負債・純資産合計	11,444	13,916	+2,472	

取り組み：2022年10月以降の価格改定（価格の引き上げ）について

2022年10月に、宅配寿司「銀のさら」、宅配御膳「釜寅」、宅配寿司「すし上等！」においてメニューの価格改定を行いました。

今後とも商品力・サービス力にこだわり、品質の維持と安定供給に努めて参ります。



取り組み：お肉の専門店スギモトとコラボ「和牛すき焼き釜飯」限定販売

宅配御膳「釜寅」より、肉の老舗店「お肉のスギモト」が開発した“黒毛和牛すき煮”を使用した「和牛すき焼き釜飯」を販売しました。

食感を楽しんでいただけるよう、ささがきごぼうと、糸こんにゃくを加え、黒毛和牛の旨味をしっかりと吸わせ、ご飯1粒に至るまで、和牛の味が楽しめる逸品になっています。



取り組み：宅配寿司「銀のさら」環境にやさしい2種の容器を共同開発

環境負荷を軽減し地球環境保全に貢献するため、国産の天然の石が主原料である新素材「L-Stone」を使用した新たな使い捨て容器をタカギ産業株式会社と共同開発しました。この結果、年間を通して全体で約7.7トンのプラスチックの使用量の減量が見込まれます。

宅配業界のリードカンパニーとして、資源保護、SDGsの取り組みにも繋がると考えました。今後も様々な方面から地球環境保護のために取り組んでまいります。



取り組み：次世代の新しい食サービス「Craft Eats」 第1弾「Craft Burger」をECサイトで一般販売

検証中の新ブランド「Craft Eats」において、自社ECサイトを開設し、第1弾として「Craft Burger」の販売を開始しました。

植物肉と和牛の使用割合を変えてブレンドしたオリジナルパティの食べ比べができます。植物肉などの次世代食品の美味しさを追求し、食の満足と環境課題解決の両立を目指していきます。





RIDE ON EXPRESS
HOLDINGS